

2022年度

健康福祉サービス自己評価結果報告書

報告書の内容

添付書類	添付した書類に○を記入
チェック済評価基準	○
評価基準概評	○
サービス改善計画	○

施設・事業所名：さんま

# 健康福祉サービス自己評価実施状況報告書

2023年4月21日

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課長 様

(所在地) 滋賀県甲賀市水口町梅が丘5-2  
(施設・事業所名) さんま  
(代表者職・氏名) 施設長 谷村耕太

健康福祉サービス自己評価を、「本県における健康福祉サービス評価システムの推進について」により実施しましたので、下記のとおり報告します。

## 記

### 1 施設・事業所の名称

さんま

### 2 評価基準およびサービスの種別 (該当の記号に○印を付し、サービスの種別を記入)

#### ○評価基準

ア 障害福祉サービス共通評価基準① [障害者/施設、グループホーム]

(種別: )

イ 障害福祉サービス共通評価基準② [障害者(児)/在宅]

(種別: )

ウ 放課後等デイサービス自己評価表

エ 児童発達支援自己評価表

オ その他の評価基準 (具体的に: )

※種別 (記入例: 就労継続支援B型)

### 3 自己評価の実施時期 (自己評価結果をとりまとめた時期)

2023年4月

4 県のホームページで、自己評価を実施した施設・事業所の名称、所在地、実施時期、事業所での評価結果の公表の有無を情報提供することについて

提供してもよい ・  提供しないでほしい

5 自己評価結果の公表の有無（該当するところを○で囲む）

- |                 |                                     |   |                                      |
|-----------------|-------------------------------------|---|--------------------------------------|
| ①市町への送付         | した                                  | ・ | <input checked="" type="radio"/> しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | した                                  | ・ | <input checked="" type="radio"/> しない |
| ③県庁障害福祉課への送付    | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない            |
| ④施設・事業所内での閲覧提供  | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない            |
| ⑤インターネットのホームページ | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない            |
| ⑥その他の方法での公表     |                                     |   |                                      |

（具体的に： \_\_\_\_\_）

6 サービス改善計画の公表の有無（該当するところを○で囲み、括弧内に記入）

- |                 |                                     |   |                                      |
|-----------------|-------------------------------------|---|--------------------------------------|
| ①市町への送付         | した                                  | ・ | <input checked="" type="radio"/> しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | した                                  | ・ | <input checked="" type="radio"/> しない |
| ③県庁障害福祉課への送付    | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない            |
| ④施設・事業所内での閲覧提供  | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない            |
| ⑤インターネットのホームページ | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない            |
| ⑥その他の方法での公表     |                                     |   |                                      |

（具体的に： \_\_\_\_\_）

7 自己評価を実施して感じたこと、評価基準・ガイドライン等への意見やサービス評価について今後望むこと

自己評価を実施していく中で、会議やアンケートなどで自事業所の支援内容を振り返ることができ、それを共有することができ、あらためて考えたり、ニーズを再確認する機会となった。個々のスキル（気づく力）をあげることができた。また、コミュニケーションのアップにもつながった。

それぞれ特色のある療育を提供している放課後等デイサービスに一つの評価基準ではかるには厳しいものがある（学童クラブ型、習い事型、特殊療育型などなど）。それでも、最低守らなければならない水準があり、それ以下で劣悪ともいえる環境（基準ぎりぎり職員と狭い部屋でビデオ等を見せるだけ、のような）で子どもたちが過ごしている現状は改善しなければならず、このような形になったのだろうが、ニーズがなくいいえの評価が多くなるものもあり、地域や利用者にあった工夫や、ニーズに応じた形態をみとめて発展させることも、放課後等デイサービス全体の多様化、活性化につながると思う。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2023年 4月 20日

事業所名 放課後等デイサービス さんま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1人当たり2.6㎡の専用スペースがあり、その他に共用スペースや庭もあります。さらに晴れていけば散歩や公園に行くなど思いっきり活動できるよう配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		保育士、教員、児童指導員、等を常時2名以上指導スタッフとして配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		現在利用者、相談者共にニーズはない。	現在、大規模な改修の必要はないが、細かいところでの必要部分の改善をしていきます。また、今後のことを考え段差スロープ等の設置の検討をしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的にスタッフ全員(アルバイト含む)でホワイトボードを用い振り返りを行っています。ミーティングの際に全常勤で共有しています。	支援提供責任者を配置し、PDCAサイクルのシステムを作ります。ミーティングで情報を共有し、決定事項は実行していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート結果を受け改善目標を立て、業務改善につなげていきます。アンケートの意見を保育に反映していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今後もホームページに掲載します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			近隣の事業所とも情報共有して、意識して意見を取り入れていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナ禍で減ってはいますが、極力外部研修に参加しています。	内部研修等を利用し、研修のフィードバックをしていけるようにします。
適切なき	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童発達管理責任者を中心に、課題を分析しながら、支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			セルフプランのためアセスメント自体が難しいですが、セルフプランを立てる際に必要に応じ保護者に助言しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			話し合ってから事前に計画を立て準備をし、計画に沿って活動プログラムを実行していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		様々なプログラムを用意しています。	月ごとの活動計画を立て、新しいことにも考え取り組んでいきます。視野を広く持ち、色々なプログラムを検討していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇等長く過ごすときには、予定を立てクッキングや、事業所外に出る機会を多く設けています。	早めに細かい課題設定をし、細やかな支援につなげていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			子どもの状況をその都度見極め日によって目標を決めて作成するようにしています。

<p>支援の提供</p>	<p>15</p>	<p>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している</p>	<p>○</p>	<p>毎週月曜日と毎朝、保育前のミーティングにて支援内容や役割分担、当日利用児の様子や情報についてスタッフ全員で確認し共有しています。</p>	<p>支援の細かい方法についても確認していきます。</p>
--------------	-----------	---	----------	---	-------------------------------

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		打合せの時間としての設定はしていませんが、その日のうちに、困ったこと、起こったことや得た情報の共有をしています。	退勤時間がばらばらの為終了後にできない日もありますが、翌朝には共有できるようにしています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日誌に個別の様子を記録し、ミーティングで振り返りしながら支援の仕方を工夫しています。	1人ひとりの個人ノートで記録を残すようにしています。
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に1回の割合でモニタリングと支援計画の見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインに則り基本活動を複数組み合わせ合わせて実施しています。	室内での活動、屋外での活動、個人での活動、集団での活動をバランスよくできるように考えています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		セルフプランを作成する際の保護者に同伴するようにしています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		お迎えの際に情報共有を密に行い家庭での様子、支援についても細かく連絡を取り合う用の心がけています。	学校とは定期的に連絡を取り合い、必要な時は毎日子どもの様子を連絡し合うようにしています。さらに密に連絡を取れるように関係づくりをしています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在対象者はいませんが、必要な子どもを受け入れる際に話し合い整えています。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて連絡を取り情報共有をしています。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現在対象者はいませんが、今後移行する人が出てきたときにしっかりと対応していきます。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関から研修の案内が来た際には必ず参加するようにしています。また、必要に応じてケースの相談やケース会議をしています。必要な場合と希望があれば、医療機関への情報提供や共有をしています。	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		放課後児童クラブも併設しているため、一緒に交流や活動する時間があります。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		放課後等デイサービスの連絡会や、全体会議に出席しています。	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		当日の送迎時に伝えられなかったことも電話やメールなどで伝えられる様に取り組んでいます。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		日常の相談に加え、子育てに関する講演会を企画開催しています。	

関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧な説明を心がけるとともに、質問を随時受け付けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの相談を随時受け付け、必要な助言や支援を行えるように心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会はありませんが、保護者参加のイベントを開催し、参加していただくことで保護者に交流の場を提供しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		スタッフ間の情報共有を行い、できる限り迅速に、適切で丁寧な対応を心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のお便りに加え、季刊発行のお便りや、ホームページフェイスブック等のSNSも活用して情報発信をしています。	お便りの発行が遅れないようしっかりと発行日を決めて遅れないようにしていく。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いには十分注意しています。また、重要事項説明時に、説明させてもらっていますが、今後も安心していただけるよう説明に努めます。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		別室を設け、静かな空間で関わったり、絵カードなどを用意しています。また、送迎時にきちんと話せるよう情報共有もしています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		”地域のの人々と一緒に”子どもを育てていくことを目的に、餅つきなどのイベントを開催したり、子どもたちと会報を持ってあいさつに行くなどしています。その他に、土曜に地域に開かれたプログラムを開催しています。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		緊急時対応マニュアルは策定し、いつでも見てもらえるようにしています。	防犯や感染症についてもマニュアル化し、周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回利用者参加の避難訓練を実施しています。	開催については知らせていますが、今後もしっかりと周知できるようにします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		県の虐待防止権利擁護研修会に参加し、その内容をミーティング時に報告共有しています。	今後も継続して、虐待防止、権利擁護に関する研修会に未受講者を中心に参加していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在該当者がいないため支援計画に記載していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			現在該当者がいませんが、医師の指示書があれば提出してもらい対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎週月曜日のミーティングの際に1週間分のヒヤリハット事例の確認をしています。	振り返る機会を年1回事業所内研修として設けていきます。

## 障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

### ○概 評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

①父母会、保護者会について

②父母会、保護者会を組織するかどうかの是非

③他事業も行っているため、放課後等デイサービスのみでの保護者会の立ち上げはすぐには難しいと思われる。

子どもの発達状態にもよる。

保護者の交流の場を提供したい。

時間と場所だけ提供しても良いが、全く関与しないのは危険である。

保護者参加の行事を複数行っている。

イベントに誘って交流の場を作る。

イベントに積極的に参加してもらい、交流の機会を増やす。

放課後等デイサービス利用者だけの親子イベント等も今後検討していく。



○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
バリアフリーについて	段差等により利用できない対象者の確認は終了し、大規模な改修は現在必要はない。必要があれば対応。	継続	2024年3月31日まで
父母会について	保護者会の組織に向け継続的に話し合いをする。保護者参加のイベントを今後も企画する。	継続	2024年3月31日まで
マニュアルの策定について	緊急時対応マニュアルは作成済み。感染症については、その都度のマニュアル化となっており、全体的にはマニュアル化されていない。防犯マニュアルは早	継続	2024年3月31日まで
虐待防止について	県の虐待防止権利擁護研修会に今後も継続して未受講の人が参加できるようにする。	継続	2024年3月31日まで
身体拘束について	身体拘束指針、記録用紙を作成中。支援計画に盛り込み、支援計画に説明時に同意をとるようになる。計画者に確認し、許可が出たら実施するようになる。(緊急時はその限りではない)	継続	2024年3月31日まで
担当者会議について	セルフプランを作成する際、保護者に同伴している。今後も継続する。ケース会議等にも積極的に参加している。	継続	2024年3月31日まで

## サービス改善計画書

策定日：2023年4月20日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：放課後等デイサービス「さんま

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
バリアフリー化について バリアフリー化の配慮をしている。	B	段差が多い。 階段手摺以外は設置されていない。 近隣に重身対応の事業所があることもあり、現在の利用者及び相談者からの要望が無い。	今後のことを考え、段差スロープ等の設置を考える。 他の事業所を見学し、参考にす る。利用者が、けが、転倒、行かない場所の記録。	2024年3月31日 日まで	谷村耕太	
保護者同士の連携支援について 保護者会等の活動の支援や保護者同士の連携が支援されている。	A	保護者会が無い。 保護者の情報交流の場がない。  保護者会のニーズが無い。	イベントに積極的に参加してもらい、交流の機会を増やしてもらう。  イベントの周知を徹底する。	2024年3月31日 日まで	谷村耕太	